

■MAXHUB Lシリーズ仕様書

種類	型	65型(L65FA)	75型(L75FA)	86型(L86FA)
ディスプレイ	パネル	液晶(DLED)		
	パネルタイプ	ADS方式		
	アスペクト比	16:9		
	ディスプレイサイズ	1428.48 (H) × 803.52 (V)mm	1649.66 (H) × 927.93 (V)mm	1895.04 (H) × 1065.96 (V)mm
	解像度	3,840×2,160(4K)		
	輝度	350cd/m ²		
	表示色	1.07B (10bit)		
	コントラスト	1200:1		
入力端子	HDMI入力	HDMI×3系統		
	USB2.0	3個(前面2個)		
	USB3.0	3個		
	音声入力	ステレオミニジャック×1系統		
	パソコン入力	D-sub15ピン×1系統		
	RS232	1系統		
出力端子	タッチ信号出力	USB TypeB×2系統		
	HDMI出力	1系統		
	音声出力	ステレオミニジャック×1系統		
カメラ	カメラ機能	-		
マイク	マイク機能	-		
	集音距離	-		
音声	スピーカー	12W×2		
ネットワーク	無線機能	802.11 a/b/g/n/ac 対応		
		2.4GHz,5GHz 対応		
	有線接続	ホットスポット機能 同時接続台数8台以下 LANポート(RJ45)×1系統		
タッチパネル	検出方法	赤外線遮断検出方式		
	タッチポイント	20点マルチタッチ操作		
	映り込み軽減	表面アンチグレア処理		
	保護ガラス	強化ガラス(硬度:7H)		
	入力デバイス	タッチペン&指		
電源	対応OS	Windows10/ Windows8/ Windows7/ WindowsXP/ Linux/ Mac/ Android/ Chrome		
	使用電源	100~240V, 50/60Hz, 4.0A		
	消費電力	350W	500W	500W
	消費電力(スタンバイ)	≤0.5W		
重量とサイズ	NET重量(kg)	40	54	69
	GROSS重量(kg)	54	70	97
	本体サイズL×H×D(mm)	1489×897×87	1710×1021×87	1957×1160×88
	梱包サイズL×H×W(mm)	1656×1050×204	1860×1140×280	2211×1370×280
Androidシステム	システムバージョン	Android 8.0		
	CPU	A73×2+A53×2		
	GPU	Mail-G51 ×4		
	RAM/ROM	4GB/32GB		
使用環境	温度	0°C~ 40°C		
	湿度	10% ~90% (結露なきこと)		
	高度	5,000m以下		
壁掛け金具	Model	WIB9060G		
	VESA	600×400mm	800×400mm	800×600mm
	ネジ	M8×25		

付属品(全型共通)	数量	付属品(全型共通)	数量
・タッチペン	2本	・USBタッチコードタイプA-B	1本
・ペン/ドングル収納箱	オプション	・壁掛け金具	1セット
・ワイヤレスドングル	オプション	・使用マニュアル	1枚
・電源コード	3m×1本	・保証書	1枚
・HDMIコード	1本		



ワイヤレスドングル



ペン/ドングル収納箱

新しい授業スタイルが学びを広げる!既存環境にも柔軟に対応

MAXHUB

電子黒板 Lシリーズ(教育モデル)

~未来を拓く シンプル&多機能 MAXHUB for Learning~

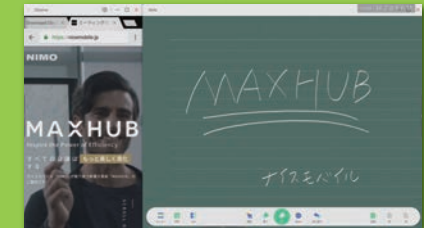
特徴
1

豊富なホワイトボード機能
スラスラ書いて、授業に役立つ機能が満載



特徴
2

同時進行ができる画面分割機能
黒板と資料など見せたい画面を同時に投影



特徴
3

PCやタブレットをすばやく投影
専用アプリで画面を簡単に投影できる



特徴
4

クリッカー(投票)機能搭載
投票やアンケート結果がすぐわかる



ITで働き方改革を支援する

NIMO

ナイスモバイル株式会社

<https://nicemobile.jp/>

カタログ記載内容についてのご注意

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。●MAXHUBは、中国Guangzhou Shizhen Information Technology Co.,Ltd.の中国およびその他の国における登録商標または商標です。●Microsoft、Windows、PowerPointは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、本カタログに記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお本文中では、TM、®マークは明記していません。

カタログ記載内容 2020年8月現在

【販売元】

株式会社 ケイ アイ シー

<http://www.kic-corp.co.jp/>

【本社】

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-2-8-11 小杉ビル

【東京支店】 TEL.03-3357-7195 (代)

【大阪支店】 TEL.06-6536-4114 (代)

【名古屋支店】 TEL.052-332-1447 (代)

ITで働き方改革を支援する

NIMO

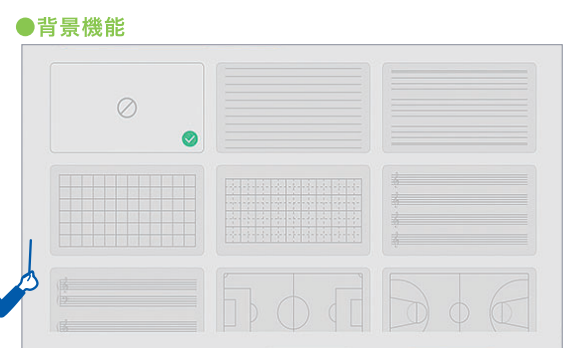
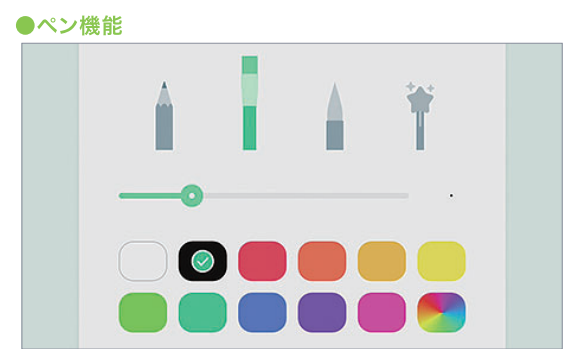


特徴
1

豊富なホワイトボード機能

ホワイトボード機能が搭載されているので、パソコン等の各種端末を起動せずにご利用できます。本機の起動はとても早いので、生徒たちを待たせることもありません。

- ペンツールや消しゴムツールなどがイラストでわかりやすく、直感的に誰でも簡単に操作可能。ペンの種類や色も豊富で、さらに「スマートイラスト機能」を使うと手書きの絵を補正してきれいなイラストが描ける。
- 定規・分度器のツールや3D図形など、授業を視覚化する機能を搭載。
- 背景を五線譜やバスケットコートなどに変更でき、授業に応じた使い方が可能。

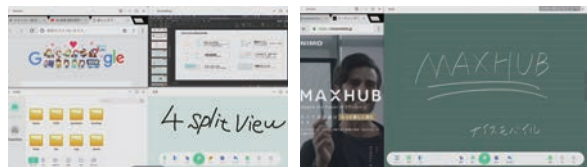


特徴
2

同時進行ができる画面分割機能

マルチタスクと呼ばれる同時進行が可能な「画面分割機能」を搭載。開いている画面をその都度消す必要がないので、スムーズな授業が実現できます。

- 黒板と資料、資料と写真など見せたい画面を同時投影することが可能。
- 最大4画面まで同時投影ができる。
- 動画を見ながら板書ができ、理解度が深まる。



特徴
3

PCやタブレットをすばやく投影

MAXHUBの専用アプリを使用して、PCやタブレットの画面を投影することが可能です。自分や生徒のタブレットを投影すれば、板書をする必要もありません。

- マルチデバイスに対応しているため、Windows、Mac、iOS、Android、Chrome OSに対応できる。
- PCであれば、双方向コントロールでMAXHUBからPC画面を操作可能。本機とPCとの間を往復する必要がない。
- 追加オプション品のワイヤレスドングルでも投影可能。



特徴
4

クリッカー(投票)機能を搭載

QRコードをスキャンして、スマートフォンやタブレットから投票すると、瞬時に集計することが可能！授業理解度アンケートや、クラス内での文化祭の出し物決め等に活用できる便利な機能です。



特徴
5

複数端子で教育機材を活用

チューナーを繋いでテレビやDVD視聴、書画カメラ(実物投影機)を繋いで資料を写し出すことも可能。既存環境と連携でき、よりわかりやすい授業が実現できます。大きい教室ではプロジェクターを繋いでデュアルモニターとして活用することも。



MAXHUB

●各地教育施設や学校の導入事例をご紹介します

※事例は、類似機種(MAXHUB Sシリーズ)によるものです。



国立音楽大学 様 ホワイトボード機能と画面共有で授業効率が大幅アップ

MAXHUB導入前、国立音楽大学のコンピュータ音楽専修では、一般的なホワイトボードにマーカーで書き込む形で授業を行っていました。しかし、後ろの方の学生には見えづらく、先生方にとってはインクがすぐに切れ、文字がかすれることがストレスでした。また、先生が自分のPC画面を見せるときは学生たちを周りに集めていたため、見えにくさや時間のロスも気になっていたそう。そんな悩みを抱えていたとき、中国の大学で偶然MAXHUBを見て便利な機能に感嘆し、すぐに導入を決めました。

先生のPCを画面共有してMAXHUBの画面上に書き込んだり、学生のPCでの作業を画面共有して先生が追記したり、ホワイトボード機能と画面共有を活用することで授業のクオリティが上がり、学生の授業態度も非常に熱心になりました。学生からも画面が大きく画質もいい、タッチペンは滑らかに書けると高評価を得ています。

「とにかく便利！授業が効率よくスムーズに進むので、導入は大正解でした」



学校法人 濱名山手学院 神戸山手女子中学校・高等学校 様 既存環境と上手に組み合わせて、新しい教育活動を展開

神戸山手女子中学校・高等学校では、2018年度にiPadを活用したICT教育をスタートさせました。教室内で画面を映し出すのにプロジェクターとモニターとで相当悩みましたが、最終的にたどり着いたのが高性能モニターのMAXHUBです。

何より感心したのが、スタンド・アローンすなわち投影機のみで動画再生ができることでした。工事が不要でPCを据え置く必要もないというのは驚きだったそう。ほかにも、ミラーリング機能を使える、USBメモリで音声ファイルが流せる、大画面で見やすい、Wi-Fiを通して端末に送信できるなど、実際に使用してみて優れている点が多数ありました。

「選定時には、いろいろな機能がついているけど、みんなが使いこなせるのか不安でした。しかし慣れてくると、『こんなことはできる?』『こんな機能はないの?』と様々な機能を活用し、積極的に新しい教育活動が展開されていく場面を多く目にするようになりました。まさに「習うより慣れる」ですね」



辰野町教育委員会 様 ミラーリング機能を活用し、より視覚的な授業を実現

長野県辰野町教育委員会では、町内すべての小中学校にMAXHUBを導入しています。以前から普通教室すべてに大型提示装置を整備していましたが、導入から年数が経ち、電子黒板機能もなかったため、利用する際はケーブルでつなげて投影する手段しかとれず、あまり活用されていない状況でした。

昨今、学校のICT環境整備が急務となっていて大型提示装置を探していましたが、選定基準はシームレスな授業展開が可能かという点でした。当町の学校ではiPadやWindowsPCなど異なる端末を利用していたため、マルチOSに対応したミラーリング機能があること、書き心地や反応のよさから、まさにMAXHUBはニーズに合う製品だったのです。

「校内ネットワークやデジタル教科書と一緒に利用することで、より視覚的な授業が展開でき、コードや使用端末に制限されないアクティブな授業ができています。児童の授業に対する姿勢も変わり、先生方のICT活用もすっかり活発になりました!」

※MAXHUB Lシリーズ(教育モデル)でWeb授業を行う場合は、外付けのカメラやマイクが必要です。

